



妙應君御遺事

増
775
171



門曾
775
171

妙應君遺事

一
 曰佐將源綱利君ハ肥後守光尚君の御長子ら寛永身
 正月八日沙流生母ハ洛陽の陪上清の道是の女なり
 沙切名と六九君とリりて七歳ハ侍也文光尚君
 昭と云はれハ翌年四月沙流遺順相續兼應二
 年十一月沙流元服綱利沙字沙流相續兼中守綱利
 君と云はれ徒四位下侍候ハ沙叙任元禄九年十月
 廿七日山崎公正徳二年七月沙流相續同日十月十三日
 七十二歳ハクハ卒也成仁路妙應院殿云々
 数十年の沙流跡沙流公香ののひ跡ハ一本も
 マコトと云ふハありて云々ハ也也カクハコトハ
 主御とのありたりあるハコトハ人の秘ハコトハ
 瓜權也有ハコトハ云々ハコトハ子孫のハコトハ云々
 ハコトハ云々ハコトハ考訂ハコトハ述加可也

大正二年一月廿一日
中村猪雄氏贈

中村猪雄氏贈



一 河又光尚君の御海君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

河又光尚君の御事

ふはるる事なきをいふは、
子孫有るに、
半威一足、
四記、

右御前、
上、
し、
る、
と、

一 明暦三年、
焼失

上、
焼、
と、

常、
金、
今、
の、
て、
り、

一 海若清高院殿及年最...
の海若りり此の殿...
少時日梅家の此和韻...
又

丙戌元朝試筆

喜見春光連武野東君仁德及西濱獸尊。直遍
群下出拜金城入祝親

又

遲日瞳々瑞色青春風送暖繞芳庭祝來耳順過
三歲又向律陽耻老齡 予今年六十四故三四及于此

丙戌元朝肥後羽林源公有試毫二篇其一則

祝慈親老而猶壯其一則述齡筭六旬有四就中
一首和奉其韻以寓慶事

大學頭林籟心

萱州迎春幾青孝心和氣滿前庭風濕浴社老日英
會司馬猶期龜雀齡

奉和肥後羽林細川君丙戌元旦試毫高韻

復軒林信充

朝陽報曉海雲青春及前庭與後庭萱草雪消
穿土早孝心先祝北堂齡

奉和肥後侯少將源君丙戌試筆高韻

退省寶全林志

門楣添色蓋冠青班爛衣温慈母庭一箇孝心如赤子
春風共志齡

妙應君御遺事 借寺本家本写之

文政二つちのの四月四日

中村 萬熹 直射



